

南信州広域連合第5回広域連合会議 結果報告

日時：令和元年8月19日(月) 16:00～16:51

場所：県飯田合同庁舎301号会議室

【出席者】14市町村長、副管理者

〔南信州地域振興局〕土屋局長

〔飯田建設事務所〕丸山所長

〔飯田保健福祉事務所〕松岡所長

〔飯田広域消防〕赤羽目消防長、有賀消防次長兼総務課長

〔飯田環境センター〕北原事務長

〔事務局〕高田事務局長・松江事務局次長・加藤次長補佐兼庶務係長

櫻井次長補佐兼広域振興係長・秋山介護保険係長・宇佐美庶務係主事

1 開 会…16:00

2 広域連合長あいさつ

3 協議・報告事項

(1) 令和元年南信州広域連合議会第2回臨時会について（資料No.1）【説明者：松江事務局次長】

告示8月9日、臨時会8月28日午後1時30分から、議会終了後全員協議会。

・議会日程について

喬木村及び高森町の申し合わせ任期による議員辞職許可報告、議会運営委員の選任がある。副委員長選任のため臨時議運を開催。

報告案件2件、条例案件1件、一般案件1件、予算案件2件。

・臨時会に付議する案件について

平成30年度繰越明許費に係る繰越計算書の報告は、一般会計で産業振興と人材育成の拠点整備事業と、飯田広域消防特別会計で災害支援車購入事業。

南信州広域連合使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定について、政令に定める手数料の標準額が消費税率の引上げに伴い改正されることから必要な改正を行うもの。

財産の取得について、消防において2千万円を超える動産で阿南消防署に災害対応特殊消防ポンプ自動車を購入するもの。

一般会計補正予算について、歳出は産業振興と人材育成の拠点事業費で環境試験機器の整備と看護師等確保対策修学資金貸付金で10名の当初予算であったが、12名に貸与が決定したため不足分を補正するもの。

歳入は、国庫支出金、繰入金、繰越金、連合債。

稲葉クリーンセンター特別会計補正予算について、歳出は余剰蒸気活用のための発電設備増設工事、歳入は繰越金。

→ 説明内容確認、質疑なし

(2) リニア時代に向けた新施設の整備に関する検討について（資料No.2）【説明者：松江事務局次長】

検討委員会が6月27日に第1回、7月23日に第2回が開催された。

・第2回の検討委員会の報告について

協議内容は、施設運用の実態の紹介（アリーナ立川立飛の取り組み、VC長野クリエイトスポーツ

の取り組み、体育協会の構想)をアドバイザー、有識者、体育協会から話をいただいた。

その後、グループに分かれ協議。今回は、利用形態の検討、施設規模の検討について議論していただいた。立地条件の検討については第3回で行う。

アリーナ等の現状をイメージとして持っていただくために、アリーナ立川立飛の視察を8月21日に行う。

次回の検討委員会は9月4日の予定。

・第2回検討委員会での主な意見

*アリーナ機能について

「観るスポーツ」という観点では、「誘客するクラブチームについても、しっかり検討しないと集客数が少なく採算が取れない可能性がある。」、「リニアを使って見に行けばいいという意見と、この地域に本物と出会える拠点が必要という意見が対立してあった。定住人口の増進のためには、地元で本物と出会える機会があった方がいい。」、「プロスポーツを軸に興行もできる多目的な機能。」という意見。

「するスポーツ」という観点では、「リニア開通の頃にはさらに指導者の数も子どもの数も減ってくると思われ、市町村の枠を超えたクラブチームの必要性が高まってくる。」という意見。

「興行と住民利用」という観点では、「アリーナがないと競技が盛り上がらないという考え方がおかしい。」、「収益優先でいくのか、地域優先とするのか、先に方針を決めてもいい。」、「一般利用と興行利用が複合されている施設はあまりない。」という意見。

*複合施設について

「連携」という観点では、「複合施設は既存のエス・バードや飯田文化会館を使用。」、「アリーナ施設で獅子舞を舞うイメージはあまりわからない。」という意見。

「機能」という観点では、「アリーナはレジャーなので金土日集中する。平日を埋めようとするビジネスマンが対象となる展示会などを。」、「費用の話は避けて通れない。イニシャルコストの地域負担を最小化できるような運営ができる施設がよい。スポーツだけでは収入が取れないので、コンサートや多目的利用ができる施設がよい。」、「飯田でコンサートなどの興行を毎月実施することは難しい。」という意見。

*施設規模について

「座席数」としては、「3,000人か5,000人かは収益も変わってくるのでバランスを見極めることで分水嶺が見えてくる。」、「3,000人規模と5,000人規模はランニングコストが全然違う。」、「5,000人規模にすると呼べるイベントが広がるので収益化のチャンスはある。」という意見。

「サブアリーナ」としては、「メインアリーナしかない一般利用の併用は難しく、興行利用が主目的となる。サブアリーナがあれば一般利用ができる。」、「メインアリーナは観る場所、サブアリーナはスポーツをする場所と分けた方がいい。」という意見。

*立地条件について

「リニアを活かすと、当然リニア駅からできるだけ近い場所。」という意見。

*施設の建設・運営の方式について

「建設やその後の運営に税金の負担が発生するくらいならいらんという声も聞く。」、「まずは所有と運営のことを決めてから、運営側がどのように使おうとしているのかも含めて検討すべき。」、「誰がどのように運営していくかをまず決めないと、判断ができないのではないか。」、「毎年の収益でランニングが賄えることが第一段階。多目的利用が飯田の地で可能かどうか見極める必要がある。」、「黒字にならなくても行政が補填するというのもありだと思う。」という意見。

*概算事業費、財源について

「財源はどうするのか。そういった議論が無い。」という意見。

*開設時期について

「開通後に検討することもひとつの考え方。」、「慌てずにゆっくり検討すればよい。」、「現時点で資金がないのであれば冷静に検討すべき。」という意見。

→ 説明内容確認、質疑なし

(3) 信州木曾看護専門学校の現状について（資料No.3）【説明者：高田事務局長】

7月25日に信州木曾看護専門学校の学校評議員会に出席した。

この学校は、平成26年4月1日に開設し5年経過した。これまで3年卒業生を出している。3年間連続で看護師国家試験合格率100%。先生も学生も一生懸命やっている。入学金は5万円、授業料は年額20万円。非常に魅力的な学校である。

この3月に卒業した卒業生の進路については、23人卒業し進学1人就職22人、県内が21人。県内就職の志向が強い。飯田下伊那地域では県立阿南病院に1人就職している。

看護師の合格率が高いこと、費用も少なく済むこと、県内志向が強いということもあるので、この地域で看護師確保対策修学資金と組み合わせて、この学校に入ることは良いことだと考える。

広域連合としての推薦枠もあるので、もう少しPRをしていただければと思う。

3広域連合でそれぞれ1人ずつの推薦枠があるが、南信州広域連合出身者はここ2年推薦枠の1人が入学しているだけなので、しっかりPRをしてここも進学先の1つとして選んでいただけると良い。

→ 説明内容確認、質疑なし

(4) 飯田広域消防から（資料No.4）【説明者：有賀消防次長兼総務課長】

熱中症疑いによる救急搬送の状況について

8月13日8時30分現在、搬送人員88人、昨年同日比-54人。今日現在では92人搬送、昨年同日比-52人。92人という数字は、一昨年の88人より多い。今年もかなり厳しい暑さ。

8月31日まで飯田広域消防では、熱中症予防強化期間として引き揚げ途上の救急車による広報、チラシの配布、ホームページへの掲載、救命講習会などあらゆる機会を利用して広報活動を続けていく。

熱中症の予防にご協力いただきたい。

→ 説明内容確認、質疑なし

(5) いいむす21登録判定について（資料No.5）【説明者：櫻井次長補佐兼広域振興係長】

今回審査の結果、適合と認められた19件の事業所の登録について審議、承認をいただきたい。

区分は、いいむす21が18事業所、ISO14001南信州宣言が1事業所。

・飯田市立丸山保育園ほか飯田市内公立保育所全17園から新規の申請。100ポイントが15園、97ポイントが2園。

・飯田市環境技術開発センターは、南信州宣言の更新で自己適合宣言の確認がされた。

・株式会社龍光電気工業は、いいむす21の審査で84ポイント。

→ 異議なし、承認

(6) 後援依頼について（資料No.6）【説明者：加藤次長補佐兼庶務係長】

後援依頼の審査案件5件

・飯田下伊那歯科医師会及び飯伊地区包括医療協議会主催、10月19日開催の歯と口の健康を守る郡市民大会。昨年に引き続きの依頼。

・阿南町社会福祉協議会主催、突撃！田舎にお嫁に来ませんか！？in名古屋。

長野県地域発元気づくり支援金採択事業で、SENAのバックアップを受けながら3つのステージを設定、南信州の未婚男性と東海圏女性の移住結婚への出会い創出等を目的に開催。

・長野県環境保全研究所主催、令和元年度「信州自然講座」in南信州。

当研究所は、自然環境に関する調査研究成果や地域のすぐれた自然、注目される取り組み等を県民にわかりやすく紹介するとともに、意見交換会を通じて地域の課題を把握する事業を実施しており、昨年度は佐久地域で開催。今年は南信州の身近な地域と健康づくりをテーマとし、11月30日に豊丘

村「ゆめあるて」で開催。

・南信州自然エネルギー普及協議会主催、地球温暖化と私たちの未来と題した講演会。

地域住民への自然エネルギー利用の普及啓発等を通じて、持続可能な地域づくりを推進していく趣旨に賛同した地域住民や団体により構成されている協議会。国立環境研究所地球環境研究センター・副センター長を講師に迎えての講演会、若者環境ミーティングを開催。

・公益財団法人南信州・飯田産業センター主催、第1回航空機システム環境評価試験シンポジウム。

昨年度エス・バードE棟に整備された航空機システムの環境評価試験設備について、その活用推進、関係技術者の交流、意見交換等を行い、航空機システムの評価試験技術の向上などを目的とするもので、10月23日～24日の2日間開催。

→ 異議なし、承認

(7) 豚コレラの現状と対応について（長野県から）

県では知事が先頭に立って、豚コレラの拡散、拡大を防ぐためにできることは、全てやっていくという強い気持ちを持って対応をしていく。

当南信州地域においても、養豚場に豚コレラを絶対侵入させないという決意のもと、県と市町村、関係団体が一体となることができる限りの対策を講じていく。現状の共有、今後の対策の方向性についても意識を1つにしてやってまいりたい。

*豚コレラの発生状況と対応について

7月13日の木曾町での最初の確認以降、8月16日までに64頭が陽性確認されている。木曾地域、松本地域での件数が多くなっている。

南信州管内は、8月15日までに2頭が陽性確認されている。10km圏内の調査対象区域には、飯田市、松川町、阿智村、平谷村、根羽村、売木村が入っている。

全県では、10km圏内の監視対象農場は塩尻市内に2か所ある。

野生イノシシの検査状況は、29頭を検査し根羽村の2頭が陽性。

補助事業において、養豚場への防鳥ネット、物理柵、電気柵の設置を支援している。野生鳥獣の侵入防止策だけではなく、人がウィルスを運ぶことも否定できないので、車の出入りによるウィルスの持ち込みを防ぐということで、消毒装置設置のための県単事業も行う。これについても農家負担が発生しないよう市町村にも協力をお願いしたい。

*野生イノシシへの経口ワクチンの散布について

7月22日に先行して試験的散布を実施。散布したワクチンの回収を7月29日に行った結果、根羽村、平谷村の「想定イノシシ接種率」は37.3%、「想定イノシシ接種率」とは噛んだ形跡のあるもの及び無くなっているものから計算したもの。

本格散布については、8月28、29日に現地踏査を行い、9月7、8日に散布を行う。先行散布のときと同様に該当市町村には協力をお願いしたい。

*知事が会見で長野県における当面の豚コレラ対策について基本方針を発表。養豚農場へ豚コレラを侵入させないという基本方針のもと、4項目の対策を講じていく。これらの基本方針、対策に基づき、8月13日に補正予算を専決処分した。専決予算額は2億1千万円余、養豚農場への防疫対策として1億2千万円余、野生イノシシ対策として9千万円余。

ハード対策として、野生イノシシ侵入防止用の防護柵等の設置、農場出入口の車両消毒装置の設置があり、ソフト対策として、養豚農場での消毒用資材の購入、小型野生動物に対する専門的衛生指導がある。

野生イノシシ対策としては、豚コレラウィルスに感染した野生イノシシの拡散防止で捕獲活動を行う。

*豚コレラ対策に関する緊急要望について

農林水産省に対して、養豚農家の豚に直接ワクチンを接種するよう県知事が要望書を提出した。
(主な意見等)

- 根羽村 : 町村会の産業経済部会でも話題になった。町村会と市長会あわせて対応していこうと。新聞報道によると、ワクチン接種に対して少し動きがあったようだが。公表できるような話はあるか。
- 土屋振興局長 : 現段階では農林水産省からは聞いていない。各方面からの要望が届くことによって動き出すことを期待している。
- 連合長 : 私どももワクチン接種についてはお願いしてきたところ。引き続き県と市町村が足並みを揃えていく。
- 松川町 : これから松茸の時期になる。山への出入りも徹底していかなければいけないと思うが、県としての方針は。
- 土屋振興局長 : 山へ出入りしたときには、しっかりと消毒をしていただくということは徹底をしていただきたい。住民への啓発もお願いしたい。山へ入るなどということにはならない。

4 長野県

(1) 南信州地域振興局

・台風10号による被害について

15日の夜から16日の未明にかけて接近した台風10号による農作物の被害は、全県で7,700万円余、南信州地域では阿智村のスイートコーン1.6ha、2,075千円。

・地域発元気づくり支援金について

2次募集申請件数20件、採択18件、採択額は22,570千円。1次と合わせると、採択66件、採択額96,341千円。南信州地域配分額は111,935千円、1次2次の採択後の残額は15,594千円ある。

つまらない事業に使うつもりはないが、残すつもりもないので、3次募集を行う。

3次募集は8月1日から8月23日まで、残額を有効に使えるようにしたい。

過去の経過として、平成28年に3次募集を行ったことがあり、3次募集は3年ぶり。

(2) 飯田建設事務所

→ 報告事項なし

(3) 飯田保健福祉事務所

信州木曾看護専門学校について

平成26年を見ると、管内からの入学者5人おり、卒業者の2人が管内へ就職し他は外へ出ているということで、若者は外に出る傾向がある。多くの若者が皆そうである。

この後、医師会との懇談会があるが、私の世代50歳から67歳の同窓会名簿を調べたところ200人位が医者になっているが、飯田で働いているのは33%位、50数%は県外という状況。

元気な飯田を作り、飯田に多くの人に来るよう、魅力ある街づくりを。

5 当面の日程について

8月28日(水) 広域連合議会第2回臨時会、全員協議会(広域消防3階) 13:30

9月3日(火) 地元選出県議と市町村長の懇談会(飯田合庁502、503号室) 16:30

6 その他

阿智村 : いいむす21について、飯田市は保育園全17園が取り組んでいてすごいなと感じたが、これは市長のトップダウンによるものか。小学校も登録できるのか。

連合長 : トップダウンではない。小学校は行っていないが、事業所単位なので小学校でも中学校でも取り組んで申請できる。阿智村でもぜひ。

7 閉会…16:51